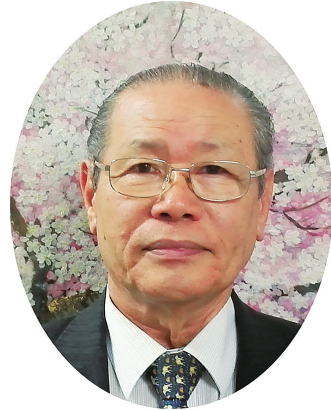


「新年のご挨拶」



公益財団法人
特攻隊戦没者慰霊顕彰会

理事長 藤田 幸生

みなさま 新年明けましておめでとう
ございます。

このご挨拶が、素直にお受け取りいただけ
るような「平穩無事な新年」であり
ますことを祈りつつ、この原稿を書いて
います。

戦後七十余年、平和が続きました。し
かし現在、我国を取り巻く情勢は、厳し
い状態であることを、私達は自覚してい
なければなりません。今まで私達は、国
民ひとりひとりが、戦争の悲惨さを認識
し、戦後の新憲法の下、政治、外交に努
め、ある意味自制をし、平和を維持して

きました。

政治の世界では、与党は与党なりに、
また、野党は野党なりに努力し、そして
また、周辺の環境も、それを許してくれ
たからこそ出来たことでありましょう。
決して、「平和憲法」があったから、
また、「いわゆる反戦平和活動」があっ
ただけではありません。この間に、
「古来から日本が佳しとしてきたこと」
を、失ってきた一面もあることを忘れて
はなりません。理想論だけではなく、人
の世は、もっと「複雑で冷厳なもの」で
あると思えるからです。

私は、戦中生まれ、戦後育ち、自衛官
生活を通じて、諸外国との付き合いを
もしてきました。東西冷戦を戦い、その
後、その敵であった旧ソ連海軍等との防
衛交流も経験してきました。そうした中
で、「昨日の敵」と、仲良くハグし合っ
てもきました。

また、先の大戦下、特攻作戦までして、
死力を尽くして戦ってきた日米両国も、
今は、唯一無二の友好国として、相互信
頼の下に、世界の平和発展のために尽力
しています。この変化は、わが人生にも
満たないわずか数十年の間のことです。
「今日の敵は、明日の朋！」という言葉

通りです。このことは、「世の中に、永
遠の敵は居ない！」ということの意味し
ます。この逆も、また在るのでしょうか。

私達が実現すべき平和な「理想郷」の
存在を信じ、「そこに向かって、油断せ
ず、弛まぬ努力をしていくことこそが、
私達のなすべきことかも知れません。」
西方浄土と言われます。これは、特攻隊
のご英霊のお気持にも繋がりますよ。
皆で手を繋いで、向かって歩んで行きた
いものです。

お正月の初夢の目出度さは、「二富士、
二鷹、三茄」とか言われます。

富士山の頂上にその理想郷が在るとすれ
ば、それは、四方八方、何処からでも、
仰ぎ見ることが出来ます。登るルートも、
各種各様です。それらの違いは、大事で
はありません。相互に、その違いを認め
合って、尊重し合い、それぞれが苦心惨
憫して、同じ頂上で、相まみえることが
いつかできることを期待しつつ、今年を
過ごして生きたいものです。

「新年のぐ挨拶」



靖國神社 宮司 徳川 康久

新春を寿ぎお祝いを申し上げます。

平成の御代も三十年となりました。また
明年四月末、今上陛下はご譲位あそばさ
れるとうかがっておりますが、その年、
靖國神社は明治二年のご創建以来百五十
年目という大きな節目の年を迎えます。

特攻隊戦歿者慰霊顕彰会の皆様には、春
秋の例祭、みたま祭、終戦記念日、また、
特攻隊全戦歿者慰霊祭などを通じ、四季
折々、また長年にわたり大変お世話になっ
ておりますこと、厚く御礼申し上げます。
大東亜戦争終戦七十年の年でありました
平成二十七年に、靖國神社ご創建百五十
年の記念事業の内容をまとめ、実行に着

手してまいりました。以降、夫々の計画
は順調に進んでおりますが、内苑、外苑
共にいつもどこかで工事が行われている
為、ご参拝の皆様にはなにかとご不便を
かけていること、申し訳ございません。
今しばらくご辛抱いただけますよう、お
願いたします。

ご存知のように、能舞台の脇には開花宣
言で有名な染井吉野がございます。桜の
名所として、境内には二十五種の桜が多
数植えられておりますが、桜も生き物で
す。戦友会、遺族会をはじめとする多く
の方々からの献木も、高齢化が進んでお
ります。そこで、土壌の改質、樹木の蘇
生、世代交代などを順次行い、百年後、
二百年後、末永くご祭神と共に桜を愛で
ていただくための作業もしております。

本年平成三十年十月の秋季例祭終了後は、
いよいよ拝殿の耐震性強化工事に着手い
たします。これは、震度六強から七に耐
えられる強化策で、必然的に拝殿内長押
から天井での作業を伴いますので、しば
らくの間、拝殿の使用を控えなくてはな
りません。しかし、これも将来にわたつ
ての安全性向上と捉えていただければ幸
いです。ただ、拝殿使用不可となります
と、祭儀にも支障をきたしますので、現

在の案では中庭の一角に一時的な仮拝殿
を設けることとなります。可能な限り、
皆様へのご不便を低減しようと考えてお
ります。

さて、記念事業とは別に、遊就館内大型
展示物のうち、いくつかにオリジナルの
形状、色彩と異なっている部分があると
の指摘を受けておりました。そこでま
ず、「回天」と艦上爆撃機「彗星」につ
きましては、過去二年間、限られた資料
ではありましたが、可能な限り探し出し、
当時の姿に戻す努力をしております。

「回天」と「彗星」につきましては、復
元できたと思っております。そして、現
在進行中は「九七式中戦車」です。ほぼ
復元修理を終え、あともう一息というと
ころまで来ております。

ご祭神が搭乗され、お使いになられた展
示資料、保管資料は大変貴重な我が国の
財産ともいえるものです。当時の姿を維
持するというのも、ご祭神の慰霊顕彰
の大きな役割であります。今後もお気付
きになられたことがありましたら、ぜひ
ご指摘をいただきたいと思います。

今年一年、皆様にはどうぞご健康に留意
なされ、幸多き日々を過ごされることを
願っております。



東京都世田谷区長 保坂展人

新年明けましておめでとうございます。皆様にはすこやかに新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

私も心穏やかに元旦を迎えることができました。これも、皆様のお力添えに加え、多くの先人のご努力に支えられたわが国の平和の歩みがあつてこそのことと、改めて感謝しております。

昨年は将棋の藤井四段の連勝記録など若者の活躍が報じられ、若い世代のこれからの活躍に期待が膨らんだ年でした。一方、地震の傷もまだ癒えない九州地方で7月に襲った集中豪雨など、全国各地で大きな災害が続いた年でもありました。この場を借りて犠牲となられた皆様や被災者を始めとする関係者の皆様にお悔やみとお見舞いを申し上げますとともに、

自治体の長として防災対策ならびに事故防止に万全を期したいと決意を新たにしております。

また、昨年9月23日の第66回の年次法要でご挨拶する機会を頂戴し、昭和二十年四月二十九日に鹿児島県の鹿屋海軍航空隊から沖縄に向けて出撃した一人の特攻隊員 森丘哲四郎さんの手記を紹介させていただきます。

その際、「『今日は故郷の村の祭りの日だ。子どもの頃の思い出が尽きぬ。あの御社、あの鳥居』といった望郷の念が募ります。そして出撃命令を受けると両親

に『幼児大病に侵さるる事数度 死境を歩む事三度 両親様の深き愛以つて今此處(ここ)にあります』と感謝の念を記します。こうして出撃し、二十三歳で帰

らぬ人となつたのです。こうして、あまりにも短い生涯を終えた青年が残した言葉は、戦後の日本に生まれた私の胸にも

迫りくるものがあります。ひとりひとりの若者らしい将来への夢や、あこがれの職業もあつたことと思います。そのすべてを投げ捨てて、戦局打開のためにと大空に散っていった瞬間を思うと、言葉を

探すことができませぬ。ご冥福を祈るばかりです。」と述べさせていただきました。

こうした尊い命の礎の上に、現在の平

和な私たちの暮らしがあることに改めて思いを馳せ、感謝の念を募らせております。

世界に目を転じますと、日系英国人のカズオ・イシグロ氏のノーベル文学賞受賞などのうれしいニュースもありました。が、やはり目立つのは北朝鮮の核開発やミサイル発射の脅威、そして立て続けに発生する戦闘やテロ行為、さらにこれらに起因する大量の難民の問題など、国際情勢はますます混乱の度合いを深めていると言わざるを得ません。

私はこうした世界の情勢に対し、わが国が積極的に国際平和の役割を果たしていくことが、先人のご努力に報いる上からもなによりも大切なことではないかと考えております。先の大戦において、ふるさとを思い、わが国の将来を信じて犠牲となられた若い命にお応えするためにも、平和を守り、国際社会の中でしっかりと役割を果たすことを考えていきたいと思ひます。

新年が平和な1年となりますことと、皆様にとつてもすばらしい年となることをお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

「新年にあたり」



(特攻隊戦没者慰霊顕彰会会員)
外務副大臣 参議院議員 佐藤正久

皆さま、明けましておめでとうござい
ます。昨年も皆様のご支援のおかげで、充
実した国会活動を展開することが出来ま
した。
年頭にあたり、北朝鮮情勢と日米関係に
ついて考えてみたいと思います。
昨年八月の第三次安倍内閣で外務副大臣
を拝命し、先の衆議院選挙後に再任とな
りました。外務副大臣として、アジア、
中東、アフリカと昨年は多くの国を訪問
し、外交・安全保障の最前線で仕事をし
て参りました。
昨年は北朝鮮から弾道ミサイルの発射が
繰り返され、九月には六回目の核実験が

行われました。核弾頭の小型化が成功す
れば、米国を射程に捉えた核ミサイルの
開発が間もなく完了するのではと、一部
の報道で言われております。私は、「対
話の為の対話は意味が無く、圧力を強化
して北朝鮮が非核化の為の話し合いに応
ずるという環境をつくるのが大事であ
る」と八月末の参議院外交防衛委員会
でも答弁しました。

国連に加盟する約一九〇ヶ国の内、北朝
鮮と国交のある国は、約一六〇ヶ国もあ
ります。国連安全保障理事会の北朝鮮制
裁委員会の専門家パネルがまとめた中間
報告書によると、アンゴラやウガンダで
は、北朝鮮の関係者が大統領警備隊や軍
警察などに訓練を実施。また、モザンビ
ークには携帯型防空ミサイルシステムなど
を輸出したとの新聞報道もあります。
外務副大臣として、世界各国に北朝鮮に
対する経済制裁の履行協力を

呼びかけ、北朝鮮包囲網を構築すること
は、今年も引き続き重要な任務です。昨
年から強化されている経済制裁が、効果
を発揮するまでは時間がかかると思いま
すが、北朝鮮が非核化に向けた対話の席
に着くことを期待しています。

トランプ大統領が誕生してから約一年が
経過したところですが、安倍首相との友
情はこの一年で深まり、日米関係は大変
良好です。昨年十一月のトランプ大統領

訪日の際には、日米両国が北朝鮮問題に
関し一〇〇パーセント共にあることと、
日本の防衛に対する米国の揺るぎないコ
ミットメントを改めて確認しました。今
年も付け入る隙のない強固な日米同盟を
世界に向かって示して参りたいと思いま
す。

戦後七十三年、日本は平和国家として世
界有数の先進国となりましたが、大東亜
戦争では三三〇万人の日本人が亡くなり、
約八千人が特攻により散華されました。
平成二十八年のオバマ大統領の広島訪問
と安倍首相の真珠湾訪問は、日米の友好
を象徴する出来事でした。かつて戦った
米国との歴史的和解と友好は進み、現在
の日米同盟は日本のみならず、アジア太
平洋地域の平和と安定に貢献しています。
これも国難に殉じられた英霊の築かれた
礎の上であり、昨年の八月十五日、私は
靖国神社を参拝し、英霊達に思いを致し、
感謝の誠を捧げました。外交と防衛は安
全保障の両輪です。今年も心新たに国の
安寧と国民の幸せの為に、外務副大臣と
しての職責を果たして参る覚悟でござい
ます。
末筆ながら、平成三十年が皆さまにとつ
て良い年になりますよう、お祈り申し上
げます。

「新年を迎えて」



(特攻隊戦没慰霊顕彰会会員)
参議院議員 宇都隆史

会員の皆様、明けましておめでとうござ
います。航空自衛隊出身、「空翔ぶ参議
院議員」こと宇都隆史(うとたかし)で
す。昨年は公私に渡りご指導ご鞭撻を賜
り、厚くお礼申し上げます。

また、私事ではございますが、二期目の
活動も順調に一年を終え、「第19代外交
防衛委員長」の重職も大過なく役目を終
えることができました。昨年9月からは、
委員長職を降板し、党においては国防
部長代理として、また院においては予算
委員会理事として2年目の活動を精力的
にこなしております。委員長時代には登
板できなかった質問の機会も、また巡っ
て参りますので元自衛官らしい中身の濃
い外交・防衛政策議論をリードして参り

たく存じます。本年も倍旧のご指導ご鞭
撻を賜りますよう、衷心よりお願い申し
上げます。

昨年は陸海空の航空機事故が相次いだ年
でもありました。5月15日には、北海道
函館近傍にて、急患空輸の災害派遣任務
中であった陸上自衛隊LR-2(北部方
面航空隊所属)が山中に墜落し4名の隊
員が、8月26日には、青森県竜飛崎の近
海にて、夜間哨戒訓練中であつた海上自
衛隊SH-60J(大湊航空基地所属)が
墜落し3名の隊員が、また10月17日には
静岡県浜松沖にて、夜間救難訓練中の航
空自衛隊UH-60J(浜松救難隊所属)
が墜落し4名の隊員が、相次いで殉職さ
れました。多様化する任務の中、万全の
安全管理の中とはいえ、厳しい訓練演習
にて更なる能力向上を目指す隊員の姿は、
涙ぐましいものがあります。大戦を戦い
抜いた特攻隊戦没者の御霊と合わせて、
護国の志に散華された殉職隊員の御霊に、
心から哀悼の誠を捧げると共に、残され
た御家族に対し衷心よりお悔やみを申し
上げます。

昨年の衆議院総選挙では野党の失速もあ
り、与党だけで改憲発議要件の衆議院の
3分の2を確保することができました。

多くの国民からの支持もあり、今まさに
憲法改正の機は熟したと言えるでしょう。
党内では発議の内容について未だ議論中
ではありますが、「9条改正が最優先で
ある」という認識は全自民党議員の共通
意識となつていきます。そのなかで、「1、
2項をそのまま残し、3項に自衛隊を明
記する」との案が浮上していますが、私
は最後まであるべき論を展開していくつ
もりです。自衛隊創設以来の根本的問題
点をこの機会にきちんと洗い出し、国会
審議の場で国民にわかり易く説明し、自
国の安全を守るのは国民自身だという当
事者意識を持つてもらふことが、真の9
条改正の大義ではないでしょうか。先の
大戦に散華された特攻隊殉職隊員の英霊
が御照覧あらせられることを肝に命じ、
「皇国の興廢、この一戦にあり」の決意
で取り組んでまいる所存です。
末筆ながら、今年一年が我が日本国にと
りまして幸多き年となり、国民の皆様が
昨年同様に安心して暮らせますよう、同
時に、会員の皆様の御健勝と御多幸を御
祈念申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。

謹 賀 新 年

| | |
|--|--|
| <p>公益財団法人 偕行社</p> <p>会長 志摩篤 理事長 富澤暉 副理事長 塩田章 副理事長 深山明敏 副理事長 白石一郎 副理事長 大越兼行 専務理事 小柳毫向 事務局長 若木利博</p> | <p>公益財団法人 水交会</p> <p>会長 藤田幸生 副会長 古庄幸一 理事長 齊藤隆 副理事長 加藤保 専務理事 赤星慶治 事務局長 本多宏隆</p> |
| <p>航空自衛隊退職者団体 つばさ会</p> <p>会長 外薮健一朗 副会長 岩崎茂 副会長 溝口博伸 副会長 戸田眞一郎 副会長 片山隆仁 副会長 鹿股龍一 専務理事 吉岡秀之</p> | <p>公益社団法人 隊友会</p> <p>会長 藤縄祐爾 理事長 先崎一 常務理事 増田好平 常務理事 吉川榮治 常務理事 外薮健一朗 常務執行役 久納雄二 (総務担当) 事務局長 植木美知男</p> |
| <p>東郷神社 宮司 福田勉 東郷会 名誉会長 東久邇信彦 会長 友國八郎 副会長兼 田内浩 編集長 伊藤和雄 事務局長 足立晴夫</p> | <p>公益財団法人 大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会</p> <p>会長 島村宜伸 理事長 柚木文夫 専務理事 圓藤晴喜</p> <p>公益財団法人 特攻隊戦没者慰霊顕彰会</p> <p>会長 杉山蕃 理事長 藤田幸生 副理事長 岩崎茂 専務理事 衣笠陽雄 事務局長 石井光政</p> |

ハワイ明治会の紹介

副理事長 岩崎 茂

日ごろから多くの方々に特攻隊戦没者慰霊顕彰会の機関誌である会報「特攻」を拝読して頂き有難うございます。また、常日頃から顕彰会の趣旨にご理解・ご賛同頂き強力なご支援を賜っておりますこと心から御礼・感謝申し上げます。

現在、「特攻」の編集委員会では、多くの方々に会報「特攻」を読んで頂く為、編集見直しを行っているところであります。当然のことながら、顕彰会の目的は、全特攻隊員の慰霊・顕彰であります。そして特攻の意義や特攻隊員の思いを後世に言い伝える事です。今回の編集見直しの一環として、既に、第117号からカラー化を始めました。また、特攻に関すること以外の随筆等も掲載していく事を考えております。今後も読みやすく、多くの方々に気軽に読んで頂ける内容にしていきたいと思つて鋭意検討を重ねているところです。

今回は、私は、直接的に特攻に関連する事ではありませんが、ハワイで営々として日本文化・伝統を守り、後世に日本精神を伝え続けている「ハワイ明治会」についてご紹介したいと思います。

日本人のハワイ移民は明治18(188

5)年に「東京市号」で944人の日本人が先駆者としてハワイに渡航した事から始まった。今回ご紹介する「ハワイ明治会」は、この様な明治生れの方々の中心とした親睦の会として昭和33(1958)年に発足した会である。

「降る雪や 明治は遠く なりにけり」のとおりこの会を立ち上げられた明治生まれの方々は既にお亡くなりになつていますが、会の名称は明治会のまま維持されています。会の目標は「明治精神を称揚し、会員相互の親睦を図り、併せて社会の福祉につくす」とされ、これまで、戦艦「三笠」復元の為の寄付(1963)、皇居新宮造営の為の寄付(1966)、マキキ日本海軍・日本人墓地の大改修(1971)等の活動を行つてきており、墓地の維持管理と毎年3月の神式慰霊祭、8月の仏式盆法要を行つている。この他にも、海・空自衛隊機や海自艦艇の送迎、日本政府関係者、自衛隊・米軍の参拝案内等も行つている。昨年末の安倍総理がハワイを訪問された際、岸田外務・稲田防衛両大臣とともにこの墓地を訪れ慰霊されましたが、この際にも明治会がご案内されています。私はこれまで現役時代に数度この墓地を訪ねていますが、本年もハワイを訪れた際に、早瀬登会長にお願いし、早瀬会長や明治会の方々とともに

参拝させて頂いた。この墓地は海軍墓地であることから海自の隊員にはよく知られていますが、残念ながら他自衛隊員や一般の日本人にはあまり知られていない事も事実です。ハワイでは米国人墓地のパンチボールが有名であり、読者の中にはここで献花・慰霊され、展望台からワイキキ浜辺の風景を楽しまれた方々も多いと思ひますが、すぐ近くのマキキ日本人墓地にも是非お立ち寄りされることをお勧め致します。



(9) 第118号

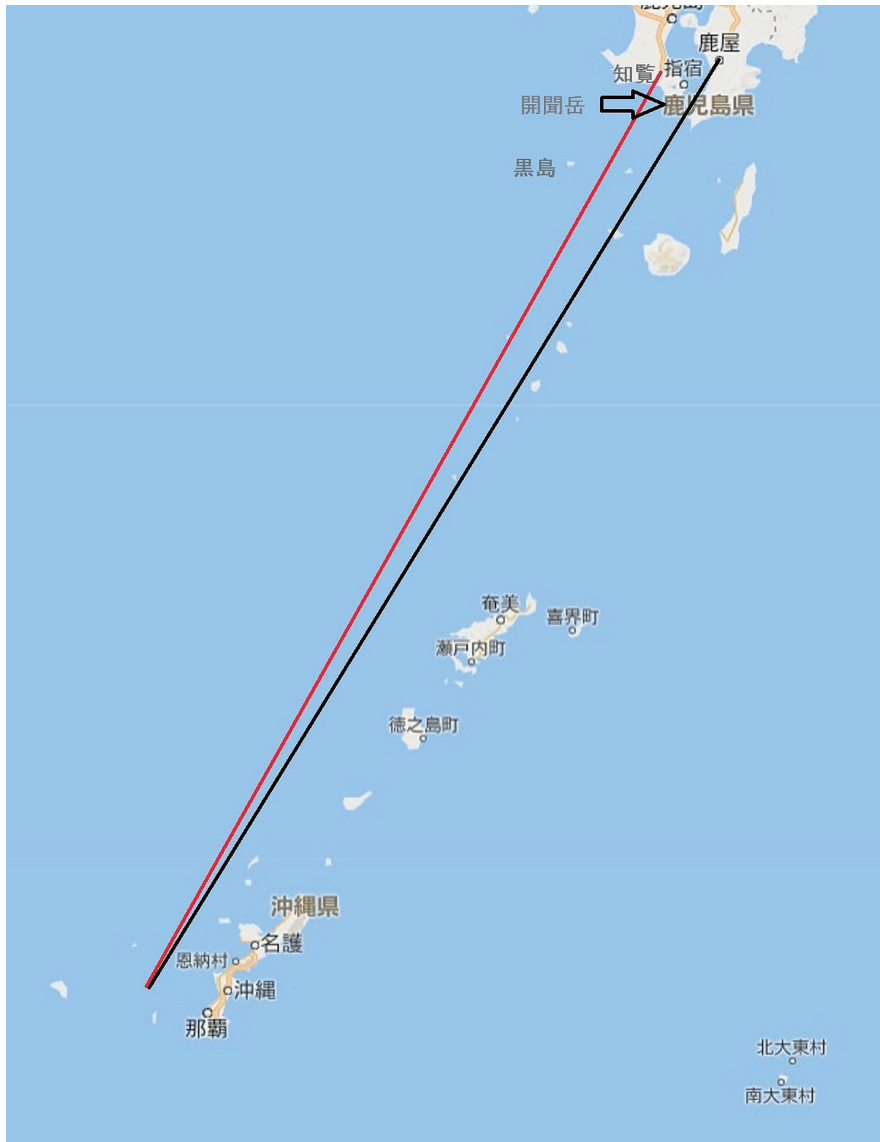
マキキ日本海軍・日本人墓地「鎮魂」の碑前にて
前列左から3人目、早瀬登ハワイ明治会会長
4人目、岩崎茂副理事長
右端、太平洋空軍司令部連絡官 佐藤1等空佐



左から2人目 早瀬登ハワイ明治会会長
隣 岩崎茂副理事長



知覧・鹿屋と開聞岳・黒島の位置関係



沖縄戦においては、沖縄本島西方海域に集結した連合軍艦船を主な目標とした特攻作戦が行われた。

鹿屋を出撃した海軍機は、鹿児島湾上空から右手に開聞岳を見て沖縄に向かった。

知覧を出撃した陸軍機は、左手に開聞岳、やがて右手に黒島を見ながら沖縄に向かった。

図の線は、知覧及び鹿屋から沖縄西方海域への直行経路を示す。実際には企図を隠すため、一直線には飛行せず、大陸や台湾に向かうように装って途中から向かったり、沖縄本島東側に迂回してから向かった事があった。

平成30年度慰霊行事予定(当頭彰会主催及び他団体主催慰霊祭参加予定)

| 慰霊行事名 | 期日・場所 | 主催者名等 |
|---------------------------------|---------------------|------------------|
| ① 神雷部隊慰霊祭 | 3・21(水) 建長寺「神雷戦士の碑」 | 湘南水文会 |
| ② 第39回特攻全戦没者慰霊祭 | 3・31(土) 靖国神社 | (公財) 特攻隊戦没者慰霊顕彰会 |
| ③ 宮崎特攻基地慰霊祭 | 4・1(日) 宮崎特攻基地慰霊碑 | 宮崎特攻基地慰霊祭実行委員会 |
| ④ 第42回都市特別攻撃隊戦没者慰霊祭 | 4・6(金) 都島公園慰霊碑 | 都市特別攻撃隊戦没者奉賛会 |
| ⑤ 豫科練雄飛会戦没者靖国神社慰霊祭 | 4・4(以前) 靖国神社 | 豫科練雄飛会 |
| ⑥ 第50回徳之島慰霊祭(戦艦大和を旗艦とする第一艦隊戦没者) | 4・7(土) 犬多布岬慰霊塔 | 伊仙町慰霊祭実行委員会 |
| ⑦ 第47回萬世特攻慰霊碑慰霊祭 | 4・8(日) 萬世特攻慰霊碑 | 南さつま市・萬世慰霊碑奉賛会 |
| ⑧ 旧海軍鹿屋航空基地特攻隊戦没者追悼式 | 4・14(土) 小塚丘公園慰霊碑 | 鹿屋市 |
| ⑨ 第58回出水市特攻慰霊祭 | 4・16(月) 特攻碑公園慰霊碑 | 出水市特攻慰霊顕彰会 |
| ⑩ 靖国神社春季例大祭(当日祭) | 4・22(日) 靖国神社 | 靖国神社 |
| ⑪ 沖縄県護国神社「あゝ特攻勇士之像」奉納式 | 4・23(月) 沖縄護国神社 | (公財) 特攻隊戦没者慰霊顕彰会 |
| ⑫ 國分基地特攻隊員戦没者慰霊祭 | 4月下旬 特攻碑公園内 | 霧島市 |
| ⑬ 秋田県「特攻勇士之像」慰霊祭 | 4・28(土) 能代八幡神社 | 東雲飛行場慰霊奉賛会 |
| ⑭ 秋田県特別攻撃隊招魂祭 | 4・29(日) 秋田市川尻物神社 | 招魂祭実行委員会 |
| ⑮ 第64回知覧特攻基地戦没者慰霊祭 | 5・3(木) 知覧特攻平和観音堂 | 南九州市・知覧特攻慰霊顕彰会 |
| ⑯ 福岡県特攻勇士慰霊顕彰祭 | 5・4(金) 福岡県護国神社 | 福岡県特攻勇士慰霊顕彰会 |
| ⑰ 第52回特攻殉国の碑慰霊祭 | 5・13(日) 特攻殉国の碑 | 川棚町新小郷殉国の碑保存会 |
| ⑱ 京都霊山護国神社特攻勇士之像慰霊祭 | 5・20(日) 京都霊山護国神社 | 関西白鷗遺族会 |
| ⑲ 第51回三重海軍航空隊「若櫻の碑」慰霊祭 | 5・20(日) 若櫻の碑霊園 | 香良洲神社 |
| ⑳ 千葉県特攻勇士之像慰霊祭 | 5・26(土) 千葉縣護国神社 | 千葉縣護国神社 |

| 慰霊行事名 | 期日・場所 | 主催者名等 |
|-------------------------|----------------------|-------------------------|
| ⑲ 豫科練戦没者慰霊祭 | 5・27(日) 陸自武器学校豫科練の碑 | 海原会 |
| ⑳ 指宿海軍航空隊基地哀惜の碑慰霊追悼式 | 5・27(日) 指宿海軍航空基地哀惜の碑 | 指宿海軍航空基地哀惜の碑顕彰会 |
| ㉑ 義烈空挺隊慰霊祭 | 6月初旬 摩文仁丘義烈空挺隊慰霊塔 | 全日本空挺同志会沖縄支部 |
| ㉒ 大東亜戦争全戦没者合同慰霊祭 | 7月上旬 靖国神社 | (公財) 大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会 |
| ㉓ 第20回十三塚原特攻隊慰霊祭 | 8・15(水) 十三塚原海軍特攻隊 | 霧島高原ビル(株) |
| ㉔ 高野山慰霊祭 | 9月上旬 高野山「空」の碑 | 全日本空挺同志会(公財) 借行会 |
| ㉕ 市ヶ谷台慰霊祭 | 9月中旬 市ヶ谷駐屯地メモリアルゾーン | 世田谷山観音寺(公財) 特攻隊戦没者慰霊顕彰会 |
| ㉖ 第67回特攻平和観音年次法要 | 9・23(日) 特攻観音堂 | 大阪特攻勇士之像慰霊顕彰会 |
| ㉗ 大阪護国神社特攻勇士之像慰霊祭 | 10月上旬 大阪護国神社 | 大阪特攻勇士之像慰霊顕彰会 |
| ㉘ 原町飛行場関係戦没者慰霊祭 | 10月上旬 南相馬市陣ヶ崎公園墓地 | (行事名・主催者等未定) |
| ㉙ 旧海軍航空隊串良基地出撃戦没者追悼式 | 10・13(土) 串良平和公園慰霊塔 | 鹿屋市 |
| ㉚ 長野県特攻勇士之像慰霊祭 | 10月中旬 長野護国神社 | 長野縣護国神社 |
| ㉛ 靖国神社秋季例大祭(当日祭) | 10月中旬 靖国神社 | 靖国神社 |
| ㉜ 千鳥ヶ淵戦没者墓苑秋季慰霊祭 | 10月中旬 千鳥ヶ淵戦没者墓苑 | 千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会 |
| ㉝ 明野忠魂塔慰霊祭 | 10・20(土) 陸自航空学校明野忠魂塔 | 明野忠魂塔顕彰会 |
| ㉞ 神風特攻隊慰霊碑参拝 | 10・25(木) 比島マバラカット周辺 | (公財) 特攻隊戦没者慰霊顕彰会 |
| ㉟ 神風特別攻撃隊戦没者慰霊祭 | 10・25(木) 西条市大町檜本神社 | 神風特別攻撃隊五軍神特攻戦没者奉賛会 |
| ㊱ 埼玉県特攻勇士之像慰霊祭 | 10月下旬 埼玉縣護国神社 | 埼玉縣護国神社 |
| ㊲ 回天烈士並びに回天搭載戦没潜水艦乗員追悼式 | 11・11(日) 大津島・回天慰霊碑 | 周南市大津島回天顕彰会 |

(日時等詳細は顕彰会事務局又は主催団体等にお問合せ下さい。)

季節の花



清楚で香ぐわしい美花水仙は、雪中華とも呼ばれ冬の代表的な花である。寒のさなか、暖地の海岸などに群れて咲く、日本水仙は、花の少ない真冬に咲く貴重な花である。

「水仙の 花のうしろの 蕾かな」 星野 立子